

別冊

# おいしだものがたり

## ～町内文化財編～

資料館では4月18日より「金山平三展」を開催予定でしたが、現在休館となっております。そこで今回は町内にある貴重な文化財を紹介いたします。

### ●山形県指定天然記念物 向川寺の大カツラ

黒瀧山向川寺は永和三年（1377）曹洞宗の名僧大徹宗令による開山と伝わる古刹で、東北における曹洞宗の一大拠点として、開創以後末寺・孫寺数百を有する中本山になりました。江戸時代には松尾芭蕉も向川寺を参詣しており、齋藤茂吉もまた、たびたびこの場所を訪れては多くの歌を詠んでいます。

向川寺境内にある大カツラの木は大徹禪師のお手植えと言われ、それが開山と同時期だとすると樹齢600年を優に越える老木です。根周りが8メートル以上、高さも30メートルを超える巨木で、さらに根元から上部まで幹が一本に伸びる単幹状のすがたをしています。

この木は小高い土手の崖際に生えていますが、巨木にとって急な斜面に立つだけでも、幹や根に大きな負荷がかかるものです。この斜面は断続的に地滑りがあったのでしょうか、その根は大きくむき出しになっています。このようなストレスに幾度もさらされてきた結果が、カツラ自身には刻まれています。外側からも所々に腐朽が見られ、根元のウロから内側を覗き込むと、木の上部に光が見えます。つまり木の中心部が腐食により全くの空洞になっているのです。

そんな満身創痍ともいえる大カツラですが、毎年葉を茂らせ、豊かな姿でいられるのは何故でしょうか。その秘密もまた、この木の形状が教えてくれます。木の根元付近はゴツゴツとした触手のような、太い血管のようなもので覆われています。これは「不定根」という、弱った植物が本来の発生場所ではない幹から生じさせた根で、生命維持や樹勢を回復させる自己防衛機能の一つといわれています。大カツラに生えた何本もの太い不定根からは、過酷な環境に抗い、生き残ってきた逞しい生命力が見て取れます。

実はこの大カツラには、桜が咲くのをご存知でしょうか。カツラは4月頃小さな赤い花を付けますが、その花のことでなく、正真正銘の桜が咲くのです。というのも、このカツラの木の主幹上部に、一本の桜の木が、あたかも挿し木された枝のように生えているためです。夏は葉に覆われ見えませんが、葉が落ちると樹皮の違いがはっきりとわかります。花の時期ならその違いはさらに明確です。

種明かしをすれば、枝が腐食し土状になった部分に、鳥によって運ばれた桜の種が発芽定着したものだと思います。しかし、赤く色づいたごく小さな無数のカツラの花の中、薄桃色の空間が浮き上がる様子は、まるで異界に迷い込んだような気分させてくれます。また厳しい生育条件に身を置きながらも生き残った姿や、自らの体の一部を朽ちさせることが桜という新しい生命を根付かせたという事実を思うと、向川寺という場所柄、単なる偶然ではない何か深い因縁を感じずにはいられません。



### 楽がき帳

4月から広報担当となりました。わかりやすい広報誌を目指しますので、どうぞよろしくお願ひします。  
さて、県内でも新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めがかからない状況ですが、先日取材のために、大石田小の入学式にお邪魔しました。対策のため、出席者全員がマスクを着用した異例の式になりましたが、先生の呼びかけで子ども達が元気に返事をする姿に私も元気をもらいました。一日も早く終息し、皆が平穏な日々を送れることを願ひばかりです。  
(松山)

| 町の人口            |              | 令和元年度中の異動       |      |
|-----------------|--------------|-----------------|------|
| 令和2年4月1日現在      |              | H31.4.1～R2.3.31 |      |
| 世帯数             | 2,344人 (-3)  | + 1戸            |      |
| 総人口             | 6,870人 (-40) | - 198人          |      |
| 男               | 3,367人 (-24) | - 105人          |      |
| 女               | 3,503人 (-16) | - 93人           |      |
| (3月中の異動)        |              | (令和元年度中の異動)     |      |
| H31.4.1～R2.3.31 |              | H31.4.1～R2.3.31 |      |
| 出生              | 2人           | 転入              | 16人  |
| 出生              | 26人          | 転入              | 116人 |
| 死亡              | 10人          | 転出              | 48人  |
| 死亡              | 149人         | 転出              | 182人 |